

平成26年11月22日長野県北部を震源とする地震に関する  
松本砂防事務所の対応

- ・平成26年11月22日22時08分発生した長野県北部を震源とする地震に関し、松本砂防事務所は、12月12日16時に地震災害時における注意体制を解除しました。
- ・松本砂防事務所では、小谷村中土東地先のカクレ沢において、当事務所の異形ブロック123個を資材の支援として運搬しました。

1. 松本砂防事務所防災体制

11月22日	22時08分	地震体制	非常体制	発令(管内で震度6弱発生)
11月25日	19時00分	地震体制	警戒体制	移行
12月8日	13時00分	地震体制	注意体制	移行
12月12日	16時00分	地震体制	注意体制	解除

2. 砂防設備の点検状況

11月23日	1時53分	天神宮橋水位観測所と姫川・松川合流点の調査及び国道通行止め箇所の調査へ2名1班体制で向かう。
11月23日	2時12分	現地調査班報告 天神宮橋より流況を確認。水位の変化は痕跡を見る限り大きな変動は無し。水に濁りがあるように見える。
11月23日	2時56分	現地調査班報告 国道148号の立の間付近で発生した道路法面崩落は道路を完全にふさいでいる。落石防護柵が倒れ、2~3mの転石が転がっている。崩落土砂は姫川本川には到達していないと思われる。
11月23日	3時15分	現地調査班報告 白馬村から岩岳スキー場方面へ向かい小谷村へ迂回できるか確認。柵池高原からは通行止めのため国道148号へは合流不可。白馬コルチナスキー場を経てJR大系線千国駅付近で国道148号に合流することが可能。
11月23日	3時20分	現地調査班2名は、小谷村に到着しリエゾン活動へ。 現地調査班報告 千国駅付近から国道148号は特に問題はなく小谷村役場に到達可能。また、道中の橋梁等で姫川本川の流況を確認したが変化を発見することは無かった。
11月23日	4時55分	小谷村にいたりエゾンが通行止めとなっている区間で姫川本川が確認できるポイントから流況確認を行うため2名1班体制で現地調査に向かう。
11月23日	5時00分	姫川流域管内(長野県白馬村、小谷村、新潟県糸魚川市)砂防設備の巡視を行うため、MSSE(松本砂防スペシャルエンジニア)が4名2班体制で出発
11月23日	5時31分	現地調査班報告 JR大系線千国駅付近から国道148号に沿ってJR大系線白馬大池駅まで南下。橋梁部分で懐中電灯を河床に向けて照らし確認したところ、水に濁りがあるが痕跡からは大きな水位変動は見られない。その他、見える範囲において河岸の崩落は確認できなかった。

11月23日	5時40分	現地調査班2名は、小谷村に到着しリエゾン活動へ。
11月23日	7時20分	高瀬川流域管内(長野県大町市)砂防設備の巡視を行うため、高瀬川出張所が1班2名体制で出発
11月23日	8時46分	MSSE巡視班報告 姫川本川水神宮橋上流右岸で4箇所斜面崩落に関して報告 崩落土砂は斜面下の道路に堆積しており、姫川への土砂流入は見られない。
11月23日	8時48分	高瀬川流域管内(長野県大町市)砂防設備の巡視完了。異常なし。
11月23日	9時01分	ヘリ調査班 1名が調査に出発
11月23日	9時45分	MSSE巡視班報告 姫川本川水神宮橋から白馬大池駅付近までの河川に大きな崩落は無く、河道に土砂が流出している箇所はない。
11月23日	11時15分	ヘリ調査班報告 姫川本川については上流から右支川土谷川までの区間に河道閉塞は見られない。
11月23日	15時00分	姫川本川、平川、松川、浦川、(長野県白馬村、小谷村)、大所川、根知川(新潟県糸魚川市)のMSSEによる砂防施設の巡視完了。斜面崩落の報告を受ける。
11月24日	14時00分	姫川流域平川(長野県白馬村)の砂防施設の点検を行うため、姫川出張所が2班2名体制で出発。
11月24日	15時50分	姫川流域平川下流部(長野県白馬村)の砂防施設の点検が完了。
11月25日	8時25分	姫川流域平川、松川、浦川(長野県白馬村、小谷村)の地震後における砂防施設の詳細点検を行うため、MSSE(松本砂防スペシャルエンジニア)等が5班10名が姫川出張所を出発
11月25日	9時45分	姫川流域松川(長野県白馬村)地震後の砂防施設の詳細点検を行うため、2班4名が姫川出張所を出発
11月25日	13時08分	白馬・小谷村内を通過する光ケーブル線路について、応急的な外観点検を開始(白馬村より糸魚川市根知地先までの区間を点検予定。)
11月25日	13時50分	姫川流域平川、松川、浦川(長野県白馬村、小谷村)の地震後における砂防施設の詳細点検が完了。 構造物の安定性を損なう異常はなし。(平川流路工(白馬村)で護岸と背後地盤のコンクリート覆工との境界部にクラックがあったが、クラックは護岸機能に即座に影響を及ぼすものではない。また、22箇所の施設は雪及び悪路にて確認できなかったが、被害が集中した姫川の右岸側から点検済み施設はさらに西側(距離的に遠く)に位置し、損傷のリスクが低くなると考えられるため、完了と判断。) 点検の結果は添付資料のとおりです。
11月25日	16時29分	白馬村内の光ケーブル線路について、外観点検が完了。今後の余震等で切断が危惧される箇所は認められず。
11月26日	16時14分	小谷村内及び同村より糸魚川市根知地先までの光ケーブル線路について、外観点検が完了。 目立った異常等は認められず。 これをもって、光ケーブル線路の応急的な外観点検は完了。

### 3. リエゾン派遣

11月22日	23時20分	白馬村にリエゾンを派遣 1名
11月23日	0時08分	白馬村にリエゾンを派遣 2名
11月24日	16時00分	白馬村へ派遣したリエゾンを撤収 (他事務所からのリエゾンは引き続き常駐)
11月24日	17時36分	小谷村へ派遣したリエゾンを撤収 (他事務所からのリエゾンは引き続き常駐)

※本資料は速報であり、今後変わることがあります。

# 平成26年11月25日 震後砂防施設詳細点検について

## 浦川流域施設点検

- ・砂防堰堤等横断工作物 22施設  
(内雪及び悪路により点検不可施設 1施設)

○点検班2班(4名)

姫川合流点より上流(第1班 2名)

金山沢(金谷橋より下流)(第2班 2名)

## 松川流域施設点検

- ・砂防堰堤等横断工作物 61施設  
(内雪及び悪路により点検不可施設 11施設)

・護岸工 5.2km

○点検班4班(8名 事務所班2班4名含む)

姫川合流点より上流(第1班 2名)(事務所班)

二股合流点より下流(第2班 2名)(事務所班)

北股下流砂防堰堤より下流(第3班 2名)

南股上流砂防堰堤より下流(第4班 2名)

## 平川流域施設点検

- ・砂防堰堤等横断工作物 64施設  
(内雪及び悪路により点検不可施設 10施設)

・護岸工 3.6km

○点検班1班(2名)

平川第3号砂防堰堤より下流(第1班 2名)

平川流路工(源太郎砂防堰堤より下流)L=3.6km 11月24日点検済み)

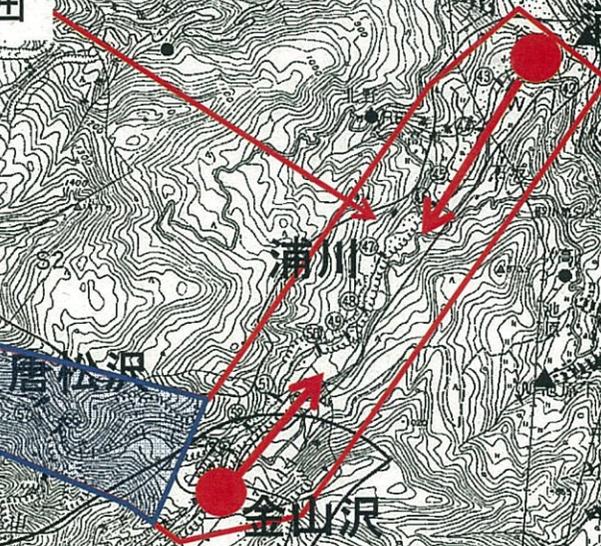
# 浦川流域施設点検範囲

## 浦川流域対象施設

- ・砂防堰堤等横断工作物 22施設
- (内雪及び悪路により点検不可施設 1施設)

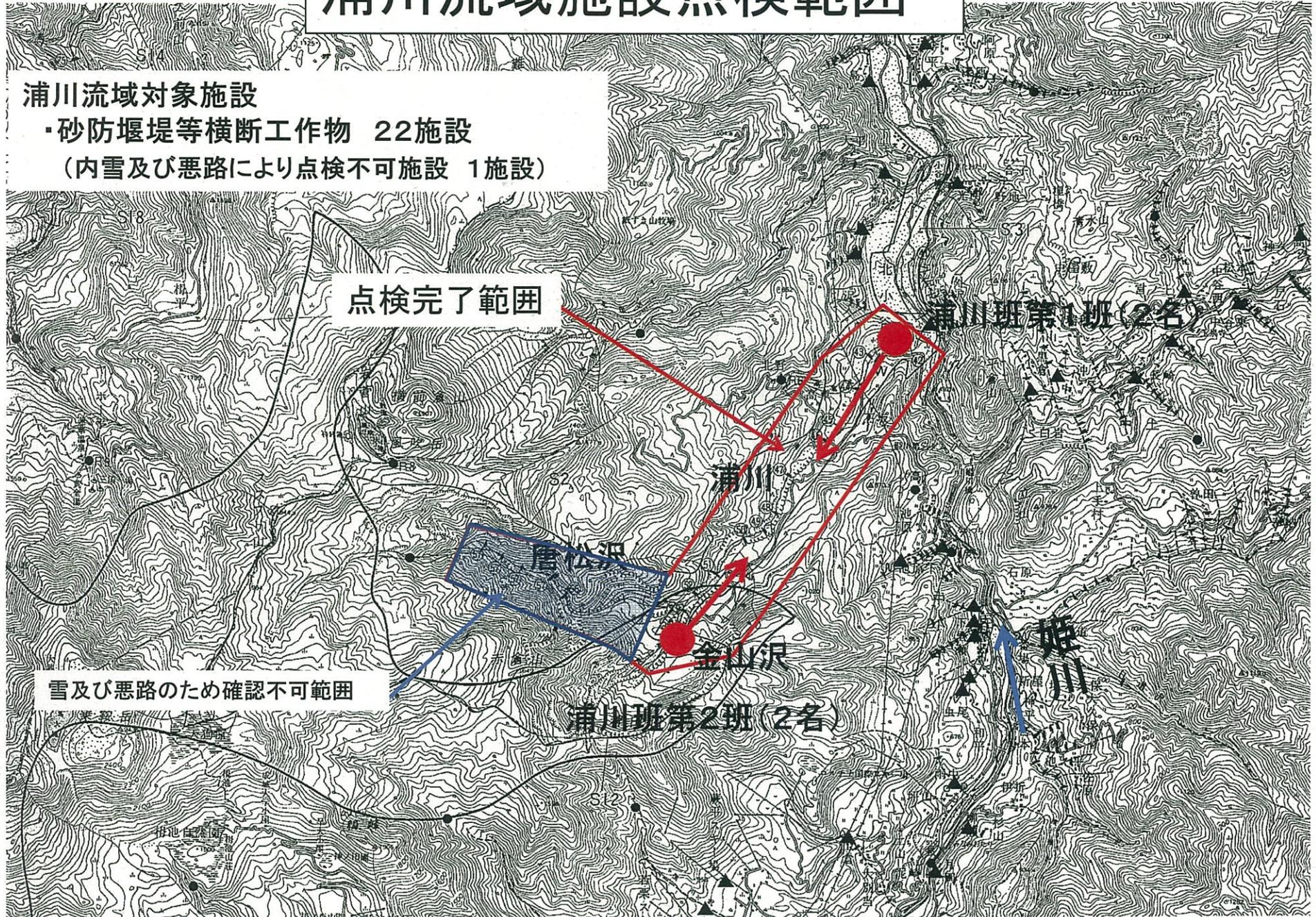
点検完了範囲

浦川班第1班(2名)

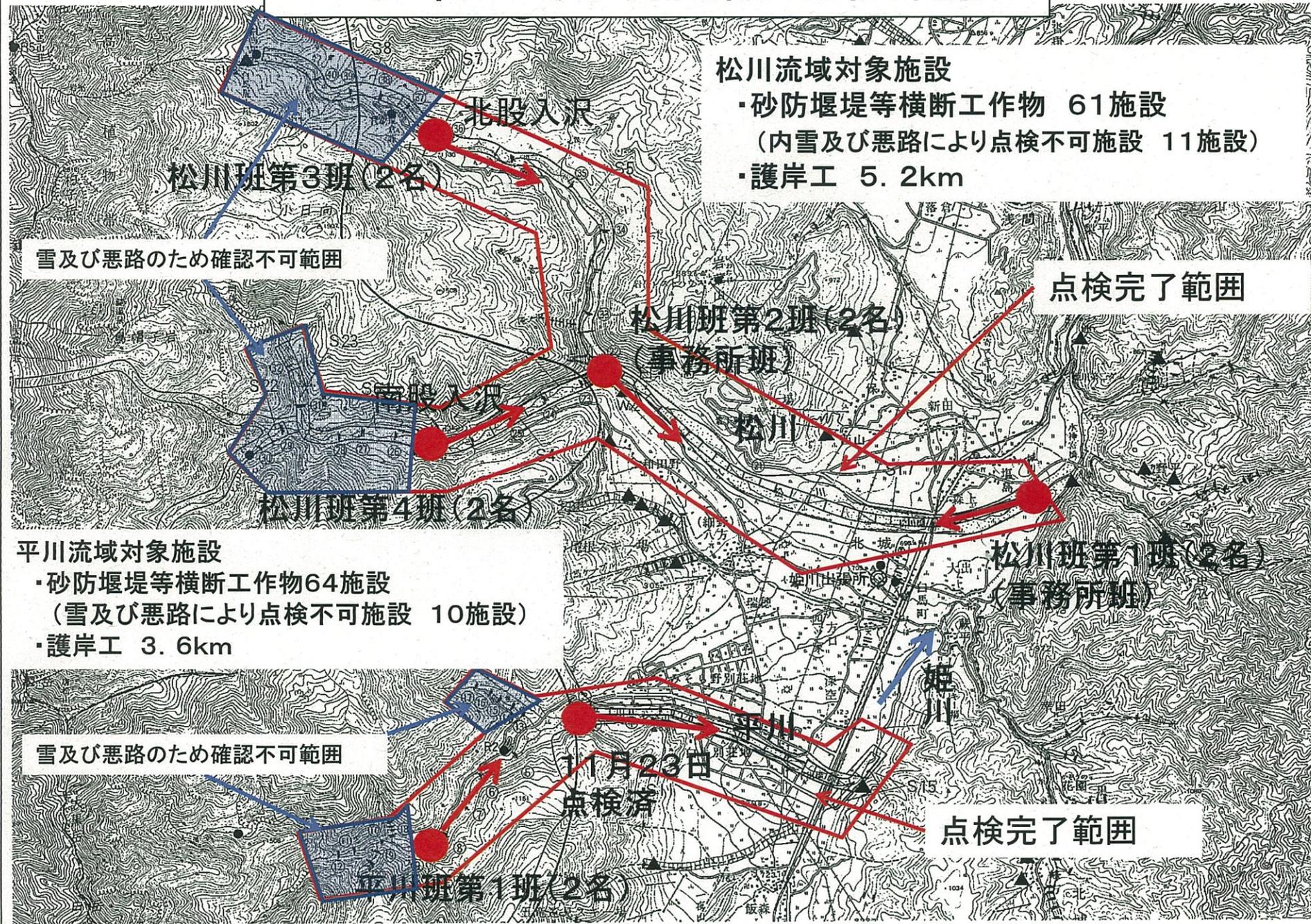


雪及び悪路のため確認不可範囲

浦川班第2班(2名)



# 平川・松川流域施設点検範囲

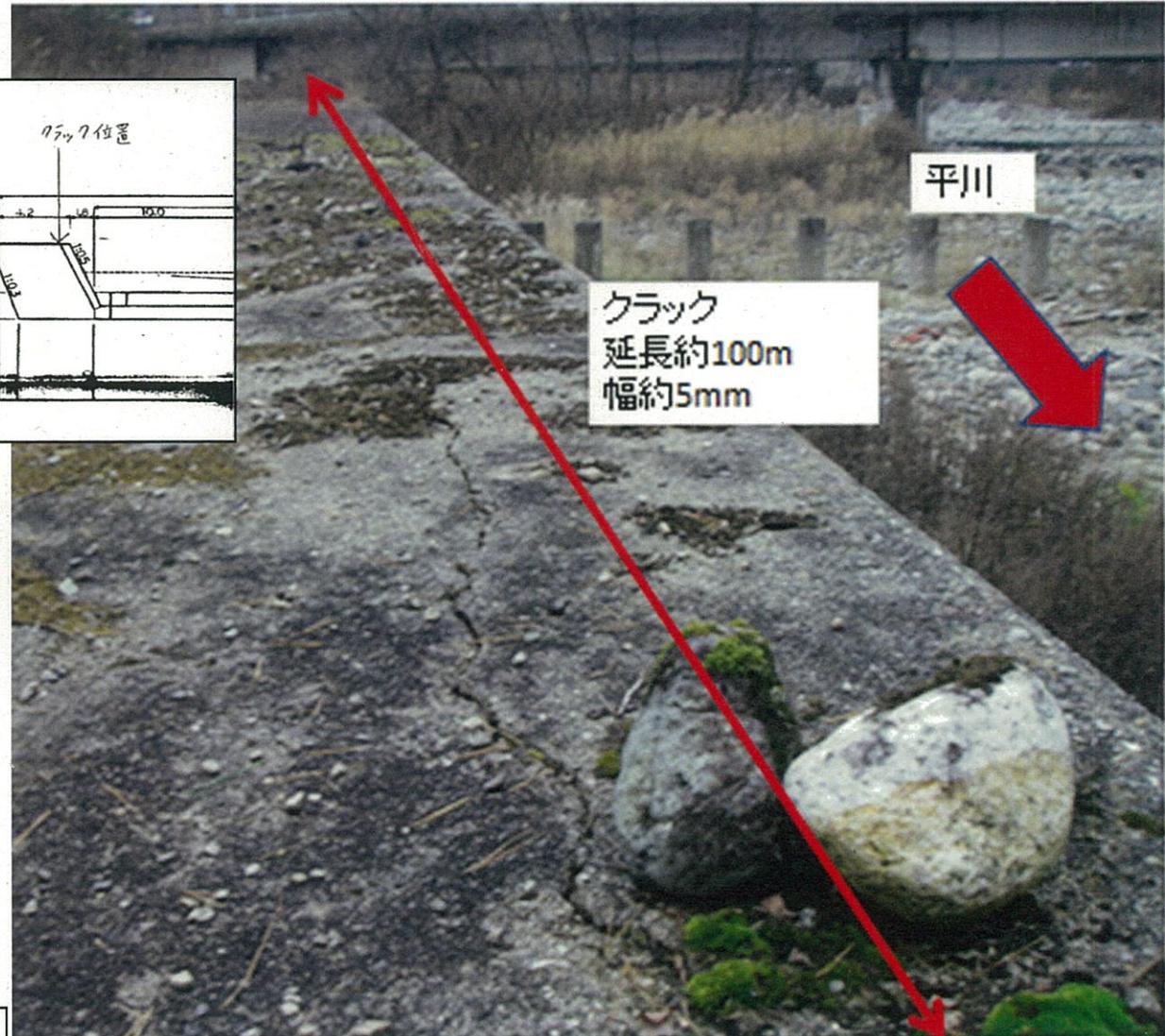


コンクリートブロック積と平張コンクリートの境界付近に延長約100m、幅約5mmのクラックが発生した。クラックは護岸機能に即座に影響を及ぼすものではない。

位置図



平面図



※位置図は「地理院地図(国土地理院)」をもとに松本砂防事務所が加工しています。

# 11月24日 施設詳細点検状況



平川流路工(護岸工)の点検



クラック状況の確認



平川流路工(帯工)の点検



クラックの状況